

令和2年第2回安城市議会定例会陳情文書表

令和2年6月4日

番 号	陳 情 第 1 号	受理年月日	令和2年5月20日
件 名	安城市陸上競技場を第三種公認陸上競技場にする為に改修を求める陳情		
提 出 者	安城市陸上競技協会 会長 松本美登志		
付託委員会	市民文教常任委員会		
要 旨	<p>陳情の趣旨</p> <p>安城市陸上競技場は2015年に改修され、フィールドは綺麗な人工芝になりましたが、第四種の陸上競技場に降格されてしまいました。その理由として、人工芝の下にはコンクリートの層があり、投てき競技での痕跡が残らない構造となってしまったこと。走幅跳・三段跳・棒高跳の跳躍競技のピットがトラックの内側にある為、跳躍競技と投てき競技とが同時に行われる競技会での、選手・競技役員の安全が確保出来ないことなどが挙げられます。また、サッカー競技に於いても、跳躍競技のピットがフィールド内にある為、正規ピッチサイズが確保出来ず、高校生以上の大きな大会を安城に誘致できない状況です。</p> <p>当協会としては、これらの現状を今後、是非改善していきたいと強く願っています。安城市陸上競技場は2015年に改修される前までは、西三河地区で行われる21競技大会のうち約半数の大会を誘致、開催して来ましたが、第四種の競技場になってからは、2競技会のみ誘致、開催に減ってしまいました。</p> <p>現在、これらの大会の誘致、開催は第三種公認陸上競技場のある豊田市、刈谷市、岡崎市の陸上競技場で分散して開催されています。安城市の子ども達にとって、身近な競技場で一流アスリートや社会人が競技する姿を直接見たり感じたりする機会が失われています。加えて安城市内外の西三河地区に住む小中学生、高校生の大半も、豊田市、刈谷市、岡崎市の競技場へ行く為に公共交通機関を利用する場合も交通の便が悪く、自動車での移動も遠い為、不便を感じながら利用しているのが現状です。父兄の方々の送り迎えも大変であり、付き添いの学校の先生達も一刻も早く安城市陸上競技場が第三種公認に生まれ変わるのを心待ちにしています。</p> <p>第三種公認陸上競技場にする為には、フィールドを天然芝もしくは投てき競技が認定可能な人工芝に換えること。フィールド内の走幅跳・三段跳のピットを同直線走路の本部席側トラック外側に移設し、国旗掲揚塔側の棒高跳ピットを同トラック外側へ移設すること。雨後直後でも、競技会が行えるよう排水設備を改善すること等が必要となります。</p>		
	<p>陳情事項</p> <p>日本陸上競技連盟による陸上競技場の認定申請は5年に1度です。</p> <p>令和7年12月の競技場認定期限までに安城市陸上競技場の問題点を改善し、第三種公認陸上競技場として認定されますように改修して頂く調査費及び計画設計のため、令和3年度予算に於いて予算計上をお願いします。</p>		